

記入例

令和7年●月●日

東京都知事 殿

企業等の所在地	東京都〇〇区〇〇町1-1
企業等の名称	有限会社〇〇工房
代表者職・氏名	代表取締役社長 〇〇 〇〇

「江戸東京きらりプロジェクトモデル事業」の応募について

別に定める募集要項を確認し、定めをすべて満たしていることを誓約・同意の上、別紙の通り「江戸東京きらりプロジェクトモデル事業」を実施したいので、応募用紙を添えて応募します。

グループで応募する場合は、グループを構成している事業者がわかる資料を添付してください。

令和7年度 江戸東京きらりプロジェクト
モデル事業 応募用紙

グループで応募する場合は、
グループの概要がわかる資料
を添付してください。

1 事業者の概要 (応募代表者)

事業者名 (屋号等)	フリガナ ユウゲンガイシャマルマルコウボウ 有限会社〇〇工房		
代表者氏名	フリガナ マルマル マルマル 〇〇 〇〇	代表者 役職名	代表取締役社長
登記所在地	東京都〇〇区〇〇町1-1	TEL	03-1111-1111
		FAX	03-1111-1112
本社所在地	〒 同上	TEL	
		FAX	
連絡先所在地	〒 同上	TEL	
		FAX	
連絡担当者 氏 名	フリガナ シカクシカク シカクシカク 〇〇 〇〇	連絡担当者 部署・役職	営業担当
メールアドレス	marumaru1234@marumaru.com		
ホームページ URL	http://marumaru.marumaru.jp		
事業開始 (西暦)	創 業 1900 年	創業年数	(2025年9月末現在) 124 年
	法人設立 1960 年		
資本金	500万円	うち 大企業からの 出資額	0 円
従業員数	正社員 パート 合 計	名 名 名	直近 年間売上高 1 億円
業種	〇×製品製造・卸売業		
主要製品	〇×製品 (商品名: 等)		
事業概要	現在どのような事業を行っているか、事業の概要と東京を拠点として事業活動を行っていることについてご記入ください。(※事業所が都外にある場合でも、東京ならではの事業活動についてご記入ください。) 伝統ある技や産品等についての指定や認定を受けている場合は、その旨についてもご記入ください。 〇〇区内で代々、江戸時代から続く.の技術により〇×の製品を製造販売している。〇〇は、三代目(東京都伝統工芸士)。 昔ながらの〇×(.) から、最近の若者にも人気の〇×を活用したもの(.) まで、約〇〇種類を製造している。 主に、都内大手百貨店やセレクトショップ等に卸している。		

2 モデル事業の内容

① モデル事業のテーマ（②～④を踏まえた設定）

〇×の技術を活用した△△△で東京の夏のライフスタイルを海外へ展開！

② どのような伝統の技や製品、サービスか

対象となる技、製品、サービスの伝統的価値について、どのくらい伝統があるか、どのように使われているか、類似のものと比較した優位点、東京ならではの部分等についてご記入ください。

〇×の技術は、江戸時代後期に江戸の町民が・・・・・・で使う・・・・・・の製作のために生まれたものである。この技術は、・・・・・・や・・・・・・にも使われるほか、現在では・・・・・・にも応用されている。××地域の△△の技術と類似しているが、・・・・・・が・・・・・・な点で異なり、・・・・・・を製造する場合は、〇×技術のほうが・・・・・・の点でより優れている。江戸・東京の夏には欠かせない技術・製品である。

③ 今後取り組む（又は取り組んでいる）事業計画

②で記載した技、製品、サービスを活用し、今後、どのような取組を行っていくのかご記入ください。また、その取組の新規性や他と異なる優れている部分（機能や使い手のメリット等）、最終的に目指すところについてご記入ください。

〇年前から製造してきた〇×技術による〇×製品と〇〇の技術を掛け合わせによる□□□に、海外のニーズに基づき、・・・・の加工を加え、・・・・といったバリエーション豊かな色の展開を図る。・・・・や・・・・の点が他にない新しさであり、・・・・な点が機能的にも優れている。使い方もこれまでの・・・・より・・・・で、・・・・であり、東京の夏のスタイルでありながら、・・・・といったニーズにも合致し、さらに・・・・な場などでも活用できるため、ヨーロッパはもとより、アメリカ、アジアにおいても活用が見込まれ、東京のイメージアップにもつながると考える。

④ ③の事業計画を策定した根拠（海外ニーズ等の把握状況、取組理由等）

③で記載した事業計画を構築するにあたり、どのようにニーズの把握や同業者等の状況等を調査したか、またその調査結果、計画した根拠などについてご記入ください。

株式会社〇〇〇〇による海外・・・・調査において、・・・・といったニーズがあるということが判明し、いくつか試作品を製造し、都内に在住する外国人数人に使用してもらい、意見を聞いた。その結果、以下について、改良・工夫が必要だと判明。

①・・・・・・

②・・・・・・

⑤ 実施体制・資金計画

③で記載した事業計画を遂行するための社内体制や社外の協力体制、実施する際の資金調達予定等についてご記入ください。



⑥ きらりプロジェクト参画への意気込み（セールスポイント）

きらりプロジェクトに参画した場合、どのようなことを行いたいのか、東京を代表するもの・サービスとしての発展性・可能性等、セールスポイントを自由にご記入ください。

当社で扱う〇〇は、江戸時代後期に江戸の町民が・・・・で使うために生まれた技術・製品であり、江戸ならではの祭りの文化にも通じるものであり、その良さを残しながら、現代、海外ニーズに即したデザイン、使い勝手の良さを加味し、改良したものである。きらりプロジェクトに参画後は、さらに新たなデザインを取り入れ、〇〇などの新たなターゲット層（国・世代）の獲得を目指

し、伝統と革新が共存する、東京を象徴する製品へと進化させたい。

⑦ 事業計画に関する補足説明

①～⑥で記載した内容のうち、文章での説明が難しい部分について、図や絵、写真を用いて説明してください。

○ 当工場の技術

当工場の技術は、・・・・・・で、・・・・
・・・・・・な点が・・・・・・で、
・・・・・・
・・・・・・である。

具体的には、写真②～④のとおり、大企業の製品にも使われている。



○ 当工場の設備等

応募する取組を行うにあたり、以下、設備を整え、試行中である。（詳細は別添「パンフレット」のとおり）

- 1
- 2
- 3

○ 応募する取組の詳細

応募する取組を内容については、○年前から通常業務で連携している△△屋との仕事を通じてアイデアをあたためていたが、あらたに株式会社○○○○からの提案もあり、今回の応募に至った。

また、・・・・・・。（別添「図面」のとおり）

なお、・・・・・・。

将来的には、・・・・・・を考えている。

○ 連携先の技術及び連携内容

△△屋は、江戸時代後期から続く○○を生かした・・・・・・の技術を用いて・・・・・・を製造している。当工場とは・・・・・・の製造で以前から取引がある。その・・・・・・の技術を本取組の・・・・・・に活用し、これまでにない・・・・・・ができるようになる。

また、株式会社○○○○は、海外ニーズを受けて、伝統技術を応用した商品開発を以前から検討しており、取引先からの紹介で当工場に連絡があって、今回の取組につながった。

本取組では、・・・・・・や・・・・・・の面で・・・・・・を担う。

※スペースが足りない場合、他の資料で説明する場合は、別途資料を添付してもかまいません。